

J L A 論文集投稿規定

1. 論文作成の目的

筆者らの研究成果を公表し、本分野の学術的発展に寄与することを目的とする。

2. 投稿者の資格

投稿の代表執筆者（筆頭著作者）は投稿論文に関する貢献度が最も高い者とし、個人正会員、個人賛助会員、学生会員、法人正会員、法人賛助会員等、J L A 会員であること。連名者（連名著作者）は投稿論文に貢献し、当該論文に関する質疑に回答できる者とし、J L A 会員であることが望ましい。

3. 論文集掲載までの流れ

(1) 原稿受付

- (i) 論文は一般に公表されている刊行物に未投稿のものであること。
- (ii) 論文の査読、掲載等を円滑に実施するため、原稿と一緒に表 1 に示すチェックリストを提出のこと。チェックリストは本学会ホームページよりダウンロードすること。
- (iii) 論文の投稿日は原稿の受付日とする。
- (iv) 投稿原稿の内容に関する責任はすべて著者に帰属する。
- (v) 投稿原稿の内容に関する討論についての責任は著者に帰属する。
- (vi) 原稿は投稿論文作成用テンプレート（WORD）に従って、原則日本語で作成する。
テンプレートは本学会ホームページよりダウンロードすること。
- (vii) 原稿は最大 8 ページまでとする。
- (viii) WORD で作成した原稿およびそれを PDF に変換した原稿の両方を提出すること。

(2) 提出された原稿の内容および体裁の審査を行い、不備な場合は原稿の再作成を依頼する。原稿は 1 か月以内に再提出すること。

(3) 討論および審査の実施。

(4) 掲載可否の判定。

(5) 掲載可の場合、最終原稿、著作権移譲書等を提出し、掲載料 20,000 円を本学会に納付する。

(6) 掲載否の場合異議申し立てにより、その申し立てが妥当と認められれば再審査する。

(7) 論文掲載（Web）

4. 論文の審査

論文の内容および体裁については本学会理事会が指名する 2 名以上の査読委員が審査する。論文内容については代表執筆者と査読委員との誌上討論を実施することがある。

5. 著作権

(1) 論文集に掲載された論文の著作権は本学会に帰属する。

(2) 当該論文の審査合格の時点で、投稿原稿の代表執筆者は著作権を本学会に譲渡する。連名者はその旨を代表執筆者に委任しておくこと。

(3) 著者が論文の一部を複製、翻訳して用いることは妨げないが、全文を複製して他誌に掲載する場合は本学会の承諾が必要である。

6. その他

- (1) 原稿の内容に関する責任は著者に帰属する。
- (2) 論文集に掲載前であれば原稿を取り下げることができる。
- (3) 執筆要綱は必要に応じて改定する。

表1 論文投稿時提出用チェックリスト

チェック欄	チェック項目
全般	1. 投稿規定と執筆要綱に従って原稿を作成していますか。
	2. JLAの論文にふさわしい内容ですね。
	3. 共著者の人数は適正ですか。
	4. 全共著者が投稿と内容を把握・納得していますか。
	5. 原著者や著作権者の許可を得ていない図表などは転載していませんか。
	6. 著者による原著で、一般に公開されている刊行物に未投稿ですね。
論文の価値	1. 投稿論文の内容がリーダーシップに関連したものです。
	2. 論文の内容に新規性、独創性がありますか。
	3. 論証が科学的、論理的に行われていますか。
	4. 論旨を証明、説明するデータや文献が適切に提示されていますか。
	5. 研究及び調査方法が適切に記述され、これに則った論述がなされていますか。
	6. 検証可能性を前提として十分な説明力を持っていますか、または合理的な検証方法についての記述がありますか。
	7. 既存の認められた専門知識との整合性が確保されていますか。
	8. 読者に役立つように、一般性、客観性または普遍性がある内容になっていますか。
投稿	1. JLAホームページよりダウンロードしたA4判テンプレートの最新版を用いています。
	2. 規定ページ数以内ですね。
表題と要旨	1. 表題は、内容や特徴を短く適切に表現していますか。
	2. 英文表題は、和文表題の意味・内容を適切に表現していますか。
	3. 要旨には、対象とその経緯、方法、新しい事実、結論などが明記していますか。
	4. 英文要旨は、適切な語数(200-250語)としていますか。
	5. 要旨の下にキーワード(数語)を重要な順で記載していますか。
執筆	1. 一つの文章が長すぎる(4行程度以上)記述していませんか。
	2. 段落を適切にしていますか。
	3. 誤字・脱字、記号の誤記および単位(SI)の不統一などしていませんか。
	4. 図・表・文献番号の誤記などしていませんか。
	5. 読者が理解できないような専門用語には、補足説明していますか。
	6. テンプレートの指示に従った文字(書体、フォント)で書いていますか。
文献	1. 本文中に参照順に通し番号で「○○ ⁽¹⁾ 」のように、右肩上付き形式で引用していますか。
	2. テンプレートに従って、正しい掲載形式、略記法としていますか。
	3. 未公開あるいは投稿中のものを引用していませんか。
	4. 電子媒体を引用する場合には、テンプレートに従うこと。またWebページの場合には参照日付を表記していますか。
図・写真・表	1. 説明が本文中に必ず記載されていますか。
	2. 図(写真も含む)、表ごとに番号と題目を付けていますか(図の題名は下、表は上)。
	3. 題名だけで内容が分かるようにしていますか。
	4. 単位はSIで統一していますか。
	5. 記号の意味は本文を読まなくとも分かるようにしていますか。

本文行間は原則 12points
タイトルは 1 行とする

サブタイトル：
明朝体 12points

日本リーダーシップ学会論文集原稿雛形
(サブタイトル：テンプレート利用方法)

タイトル：明朝体
14points

著者名：明朝体 10points

日本 太郎*1, 都市 次郎*2

英文タイトル：Times
New Roman 12points

A Template for JLA Manuscript Preparation
(Subtitel: How to use a template)

Taro NIHON, Jiro TOSHI

*1 JLA University, Nishi-shinjuku00, Shinjuku-ku, Tokyo

*2 JLAB University, Honmachi00, Osaka-shi, Osaka

英文サブタイトル：Times
New Roman 12points

著者全員の所属，所在地を英文で表記：Times
New Roman 10points

英文著者名：Times
New Roman 12points

Abstract

IN English. One two three four five six seven eight nine ten. Eleven twelve thirteen fourteen fifteen sixteen seventeen eighteen nineteen twenty one twenty-two twenty-three twenty-four twenty-five twenty-six twenty-seven twenty-eight twenty-nine thirty one thirty-two thirty-three thirty-four thirty-five thirty-six thirty-seven thirty-eight thirty-nine forty one forty-two forty-three forty-four forty-five forty-six forty-seven forty-eight forty-nine fifty one fifty-two fifty-three fifty-four fifty-five fifty-six fifty-seven fifty-eight fifty-nine sixty one sixty-two sixty-three sixty-four sixty-five sixty-six sixty-seven sixty-eight sixty-nine seventy one seventy-two seventy-three seventy-four seventy-five seventy-six seventy-seven seventy-eight seventy-nine eighty. Eighty-one eighty-two eighty-three eighty-four eighty-five eighty-six eighty-seven eighty-eight eighty-nine ninety. Ninety-one ninety-two ninety-three ninety-four ninety-five ninety-six ninety-seven ninety-eight ninety-nine one hundred.

英文抄録 200-250 語程度で論文の内容が分かるよう記述する.

Times New Roman 9 points 行間 12 points

Key Words: Leader, Management, Communications, etc.

キーワード：Times New
Roman 9points

全角「.」

<以下，文章(和文)の句読点は全角「.」と「.」を用いること>

1. 緒言 (見出し文字:ゴシック体太字 9 points,章,節,項番号:Arial)

<本文と見出し(章,節,項)の間は1行開ける>

日本らによると，こうである (1)。その一方，米国らは，ああいう報告をしている (2)。

本文。(明朝体 9 points)

⋮
⋮
⋮

本文。(明朝体 9 points)

<本文と見出し(章,節,項)の間は1行開ける>

2. 研究方法または調査方法

2.1 ある研究

本文。(9 points)

⋮
⋮
⋮

本文。(9 points)

2.2 ある調査実施

本文。(9 points)

⋮
⋮
⋮

本文。(9 points)

図 1 は調査結果である。

参考文献参照番号
数字は Arial

2.3 その他

本文。(9 points)

⋮
⋮
⋮

本文。(9 points)

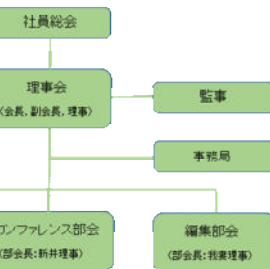


Fig.1 JLA Organization

図番の表記 9points

名称：英文 Times New Roman

図番号：Arial

3. 研究結果または調査結果

3.1 調査結果の事例

本文. (9 points)

⋮

本文. (9 points)



Table1 JLA System

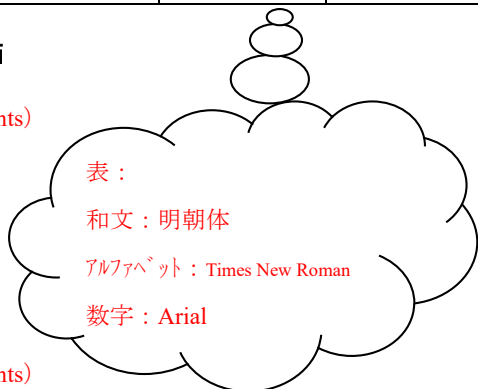
項目	A	B	C
数	1	2	3

3.2 研究の評価

本文. (9 points)

⋮

本文. (9 points)



3.3 研究・調査の評価

本文. (9 points)

⋮

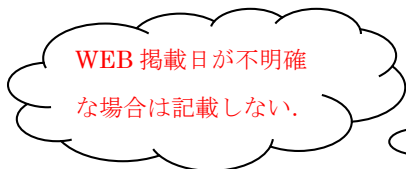
本文. (9 points)

3.4 この特性の評価

本文. (9 points)

⋮

本文. (9 points)



3.5 研究・調査の今後

本文. (9 points)

⋮

本文. (9 points)

4. 考察

本文. (9 points)

⋮

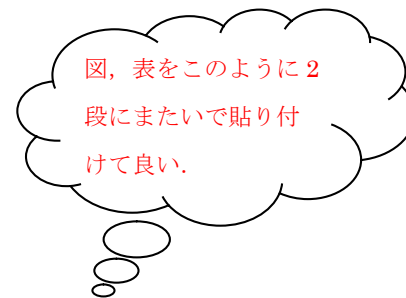
本文. (9 points)

5. 結言

本文. (9 points)

⋮

本文. (9 points)



参考文献

- (1) 日本 太郎ら, 日本工学教育協会第 63 回研究講演会, (2015), pp70-71. <講演論文集>
- (2) Nihon, T. et al., Transactions of the ASME, 100(1978), 450. <論文集>
- (3) 日本太郎, 『リーダーシップの勧め』, (2016), pp88-95, JLA 出版. <書籍>
- (4) 日本太郎, 『月刊 JLA』, 10(2), (2017), pp10-20, JLA 出版. <雑誌 10 巻 2 号>
- (5) JLA, 『研究会報告』, <https://leadership-association.jp/> 2020/01/23/, (参照 2021-3-1) <Website>

参考文献における Website の表記方法(案)

文献

番号	Web ページの題名 (ex. **の調査報告)	参照した日付
↓	↓	↓
(5)	JLA, 『研究会報告』, https://leadership-association.jp/2020/01/23/ , 2020-1-23, (参照 2021-3-1)	
↑	↑	↑
著者名,機関名	URL	掲載された日付 (不明な場合は記載しない)
Website 名 (ex. 太郎の Blog) (この URL から閲覧できること)		